

自分の身を守るために



6月21日の当事者・家族部会で、防災に関する学習会を行いました。

防災危機管理課職員を講師に招き、水・食べ物・備蓄や福祉避難所の開設に向けた取り組みといった市の災害対策の現状や整備における考え方について、率直な話を聞くことができました。

質疑応答の時間では、「空間を仕切るための段ボールなどを市で用意できるか」などの質問に、ひとつずつ説明と回答がありました。避難者全員に均一な支援を行うことが原則となる市の対応だけでは解消が難しいものもあるようです。まず、自分自身が災害への備えを考え、市民と行政の双方から防災に注力することが大切であることを確認しました。また、昨年度から避難所運営委員会が地区役員を中心にして各避難所ごとに発足し、それぞれの自主運営やルール作りに取り組み始めたという話もありました。自身の備えもありますが、地域で防災を推進する視点も必要です。

当事者・家族部会は、これまでに、障がい児者の防災訓練参加支援や手伝いができる・手伝ってほしいこと



を意思表示をする「笛吹市災害時お手伝いバンダナ」製作など、防災を通じて地域のつながり作りの推進に取り組んできました。

防災は、発災前の準備が重要です。引き続き部会でも検討を重ねていきますので、興味のある方はお気軽にご連絡ください。

■問合せ先

障がい者基幹相談支援センター

☎ 055(262)1274

FAX 055(262)1276